



平成 24 年 12 月 13 日

各 位

会 社 名 株式会社アジュバンコスメジャパン
代 表 者 名 代表取締役社長 中 村 豊
(コード番号：4929 東証第二部)
問 合 せ 先 取締役管理本部本部長 中 川 秀 男
(TEL. 078-351-3136)

東京証券取引所市場第二部への上場に伴う当社決算情報等のお知らせ

当社は、本日、平成 24 年 12 月 13 日に東京証券取引所市場第二部に上場いたしました。今後とも、なお一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、当社の当期の業績予想は以下のとおりであり、また、最近の決算情報等につきましては別添のとおりであります。

【連結】

(単位：百万円・%)

項 目	決算期	平成 25 年 3 月期 (予想)		平成 25 年 3 月期 第2 四半期累計期間 (実績)		平成 24 年 3 月期 (実績)		
		構成比	前年比		構成比		構成比	
売 上 高		4,366	100.0	105.3	2,270	100.0	4,144	100.0
営 業 利 益		927	21.2	98.8	574	25.3	938	22.7
経 常 利 益		870	19.9	92.0	558	24.6	945	22.8
当 期 (四 半 期) 純 利 益		480	11.0	174.0	324	14.3	276	6.7
1 株 当 たり 当 期 (四 半 期) 純 利 益		155 円 74 銭		112 円 38 銭		308 円 03 銭 <102 円 68 銭>		
1 株 当 たり 配 当 額 (うち 1 株 当 たり 中 間 配 当 額)		40 円 00 銭 (—)		—		30 円 00 銭 (—) <10 円 00 銭>		

- (注) 1. 当社は平成 24 年 6 月 15 日付で、株式 1 株につき 3 株の株式分割を行っております。そこで、平成 24 年 3 月期の 1 株当たり当期純利益及び 1 株当たり配当額については、当該株式分割に伴う影響を加味し、遡及修正を行った場合の数値を< >内に記載しております。
2. 平成 24 年 3 月期(実績)及び平成 25 年 3 月期第 2 四半期累計期間(実績)の 1 株当たり当期(四半期)純利益は期中平均発行済株式数により算出しております。平成 25 年 3 月期(予想)の 1 株当たり当期純利益は公募予定株式数(750,000 株)を含めた予定期中平均発行済株式数により算出しております。
3. 平成 25 年 3 月期(予想)の 1 株当たり配当額には、記念配当 5 円 00 銭を含んでおります。

平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年12月13日

上場会社名 株式会社アジュバンコスメジャパン

上場取引所

コード番号 4929 URL <http://www.adjuvant.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 中村 豊

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部本部長

(氏名) 中川 秀男

TEL 078-351-3136

四半期報告書提出予定日 未定

配当支払開始予定日

未定

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年3月21日～平成24年9月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	2,270	—	574	—	558	—	324	—
24年3月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期324百万円(—%) 24年3月期第2四半期—百万円(—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	112.38	—
24年3月期第2四半期	—	—

(注) 1. 当社は、平成24年3月期第2四半期においては、四半期連結財務諸表を作成していないため、平成24年3月期第2四半期の記載及び平成25年3月期第2四半期の対前年同四半期増減率の記載をしておりません。

2. 当社は、平成24年6月15日付で普通株式1株につき3株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
25年3月期第2四半期	4,933	—	2,724	—	55.2
24年3月期	4,412	—	2,429	—	55.1

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期2,724百万円 24年3月期2,429百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	—	—	30.00	30.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	40.00	40.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

2. 当社は、平成24年6月15日付で普通株式1株につき3株の株式分割を行っております。平成24年3月期の1株当たり配当金については、当該株式分割が行われる前の数値で記載しております。平成25年3月期(予想)配当40円00銭の内訳につきましては、普通配当35円00銭、記念配当5円00銭となっております。

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年3月21日～平成25年3月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,366	5.3	927	△1.2	870	△8.0	480	74.0	155.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	2,884,200 株	24年3月期	2,884,200 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	— 株	24年3月期	— 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	2,884,200 株	24年3月期2Q	2,678,700 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
(4) 追加情報	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) セグメント情報等	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、平成23年3月に発生した東日本大震災の影響から、復興需要等を背景として緩やかに回復しつつあります。しかしながら、依然として欧州政府債務危機による世界経済の減速懸念や長引く円高、わが国におけるデフレの長期化、不安定な電力供給問題の影響等もあり、景気の先行きが不透明な状況で推移しております。

美容業界におきましても、依然として新規顧客数の減少、客単価の低下、来店頻度の鈍化等、サロン(注)経営にとって厳しい環境が続いております。今後も少子高齢化、人口減少が進み、サロン1店舗当たりの売上高が低迷すると予想されます。

このような状況のもと、当社グループは当連結会計年度の営業テーマを「選択と集中」、そして営業方針を「顧客の創造・顧客の固定化」「カウンセリングの徹底」「知識・技術習得の強化」「年間販促計画(キャンペーン)の活用推進」として掲げ、サロンの安定した経営サポートに取り組ましました。

売上高につきましては、基礎愛用者の獲得に向け拡販に努めましたが、スキンケア商品が今一歩伸び悩みました。しかしながら、平成24年6月に、基礎シリーズであるAEシリーズ5品が2012年度モンドセレクション金賞を受賞いたしました。これを好機に、商品認知度を高め、今後も更なる顧客の獲得に向けて注力してまいります。

また、平成24年5月にリニューアルしたヘアケア商品のリ:シリーズは、前年実績を上回り好調に推移しております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は2,270百万円となりました。利益面では、営業利益574百万円、経常利益558百万円、四半期純利益324百万円となりました。

(注) サロン・・・美容室、理容室、エステティックサロンをいいます。

区分別売上高は、売上割戻金を含めて次のとおりであります。

区分	当第2四半期連結累計期間	
	金額(百万円)	構成比(%)
スキンケア	1,017	44.8
ヘアケア	1,344	59.2
その他	68	3.0
売上割戻金	△159	△7.0
合計	2,270	100.0

(注) 売上割戻金は、商品ごとではなく売上高の合計を基準として割戻率を設定しているため、区分ごとに配賦できないため合計額で表示しております。

当社グループはアジュバン化粧品の商品企画、研究開発、販売及びこれに附帯するサービス業務を営む単一セグメントであるためセグメント別の記載はしておりませんが、区分別の売上高の概要は以下のとおりであります。

(スキンケア)

昨年リニューアルを行ったAEシリーズと、AEミスティⅡの積極的な推進を行ってまいりましたが、AEシリーズの新規顧客の開拓までには至りませんでした。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,017百万円となりました。

(ヘアケア)

平成24年5月にリ:シリーズ4種をリニューアルしたことにより、販売が好調に推移いたしました。

また、当社グループの営業方針のひとつとして掲げる「知識・技術習得の強化」の活動の一環として、一昨年度から一般美容市場からの差別化を図るための取組みを行い、サロンに対してホームケアとは異なるプロユースのトリートメントメニューとして、①リ:プロサイバースystem(専門の美容機器を使ったトリートメントメニュー)、②リ:プロプラチナムメニュー(毛髪トリートメントメニュー)の提案、そして徹底した教育を行ってまいりました。

さらに、「技術連動型店販」（カラー、パーマ等の技術と店販を連動させたメニュー提案）を推進し、サロンスタッフ一人当たりの生産性の向上に向けて教育を行ってまいりました。サロン内においてこれらの教育を行った結果、サロンの顧客にホームケアの重要性が伝わり、ヘアケアの安定した伸長につながりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,344百万円となりました。

（その他）

その他に含まれる「MAPシステム」は、専任者が全国を巡回し、導入しているサロンへのフォロー、見込店への勉強会を行うことにより、充実した機能をもつ同システムの活用促進を継続しております。サポート体制もより充実させ、サロンとのより強い関係づくりに努めました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は68百万円となりました。

（2）連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して520百万円増加し、4,933百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末と比較して517百万円増加の3,081百万円となりました。主な変動要因は、現金及び預金の増加83百万円、売掛金の増加88百万円、商品及び製品の増加226百万円、繰延税金資産の増加64百万円によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末と比較して2百万円増加の1,851百万円となりました。主な変動要因は、工具、器具及び備品の増加4百万円、リース資産の増加6百万円、有形固定資産の減価償却による減少28百万円、ソフトウェアの増加6百万円、保険積立金の増加10百万円、繰延税金資産の増加3百万円によるものであります。

流動負債は、前連結会計年度末と比較して356百万円増加の1,240百万円となりました。主な変動要因は、買掛金の増加190百万円、未払金の増加20百万円及び未払法人税等の増加141百万円によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末と比較して130百万円減少の968百万円となりました。主な変動要因は、長期借入金が138百万円減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比較して295百万円増加の2,724百万円となりました。主な変動要因は、利益剰余金の増加295百万円によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、営業活動で獲得した資金を、設備投資及び借入金の返済等で使用した結果、前連結会計年度末に比べて59百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末には1,531百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は300百万円となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益557百万円の計上、仕入債務の増加額190百万円による資金の増加が、売上債権の増加額88百万円及びたな卸資産の増加額223百万円並びに法人税等の支払額157百万円による減少を上回ったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は55百万円となりました。これは主に無形固定資産の取得による支出13百万円、定期預金の預入による支出24百万円、保険積立金の積立による支出11百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は180百万円となりました。これは主に長期借入金の返済による支出138百万円によるものであります。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

国内の経済環境は、欧州の債務問題や長期化する円高等を背景とした景気の下振れリスクに加え、増税や景気の減速による消費者心理の冷え込みといった懸念材料もあり、国内景気や企業の経済活動にとって厳しい状況が続くと予測されます。

美容業界におきましても、依然として新規顧客数の減少、客単価の低下、来店頻度の鈍化等、サロン経営にとって厳しい環境が続いております。このような状況のもと、当社グループはサロンの安定した経営サポートに取り組んでまいりました。

平成25年3月期の業績につきましては、平成24年5月にヘアケアであるリ：シリーズ4種をリニューアルしたことにより、売上高の増収を見込んでおります。一方、管理体制強化に伴う管理費用の計上及び上場関連費用の計上により、営業利益及び経常利益は前年同期と比べ減益を見込んでおります。なお、平成24年3月期は過年度法人税等の計上がございましたが、平成25年3月期につきましては、当期純利益は増益を見込んでおります。

今後につきましては、当社グループの営業テーマの「選択と集中」、そして営業方針の「顧客の創造・顧客の固定化」「カウンセリングの徹底」「知識・技術習得の強化」「年間販促計画（キャンペーン）の活用推進」をより一層強化し、サロンの経営サポートへ取り組むとともに、平成24年6月に、スキンケアであるAEシリーズ5品が2012年度モンドセレクション金賞いたしましたことを好機に、商品認知度を高め、今後更なる顧客の獲得に向けて注力してまいります。

以上の結果、売上高4,366百万円（前年同期比5.3%増）、営業利益927百万円（前年同期比1.2%減）、経常利益870百万円（前年同期比8.0%減）、当期純利益480百万円（前年同期比74.0%増）を見込んでおります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

1 株当たり当期純利益に関する会計基準等の適用

第1四半期連結会計期間より、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」（企業会計基準第2号 平成22年6月30日）、「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第4号 平成22年6月30日公表分）及び「1株当たり当期純利益に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第9号 平成22年6月30日）を適用しております。

（4）追加情報

会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月20日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,657,208	1,740,603
売掛金	365,226	453,250
商品及び製品	365,323	591,503
原材料及び貯蔵品	45,966	43,364
その他	136,753	259,864
貸倒引当金	△6,649	△7,033
流動資産合計	2,563,828	3,081,553
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	723,110	722,348
その他	542,405	553,206
減価償却累計額	△204,645	△231,730
有形固定資産合計	1,060,870	1,043,823
無形固定資産	78,640	84,913
投資その他の資産	709,318	723,003
固定資産合計	1,848,829	1,851,741
資産合計	4,412,658	4,933,294
負債の部		
流動負債		
買掛金	205,598	395,721
1年内返済予定の長期借入金	266,652	266,652
未払法人税等	122,933	264,903
賞与引当金	72,270	74,586
その他	216,783	238,389
流動負債合計	884,237	1,240,252
固定負債		
長期借入金	753,298	614,972
退職給付引当金	27,370	28,642
役員退職慰労引当金	274,000	282,499
資産除去債務	23,349	23,494
その他	20,953	18,751
固定負債合計	1,098,971	968,361
負債合計	1,983,209	2,208,613

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年 3月20日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年 9月20日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	189,793	189,793
資本剰余金	149,725	149,725
利益剰余金	2,089,881	2,385,078
株主資本合計	2,429,400	2,724,598
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	48	82
その他の包括利益累計額合計	48	82
純資産合計	2,429,449	2,724,680
負債純資産合計	4,412,658	4,933,294

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年3月21日 至 平成24年9月20日)
売上高	2,270,832
売上原価	820,494
売上総利益	1,450,338
販売費及び一般管理費	876,327
営業利益	574,010
営業外収益	
受取利息	141
受取配当金	54
保険解約返戻金	929
雑収入	721
営業外収益合計	1,847
営業外費用	
支払利息	5,805
為替差損	4,801
株式公開費用	7,111
雑損失	81
営業外費用合計	17,801
経常利益	558,056
特別損失	
固定資産除却損	156
特別損失合計	156
税金等調整前四半期純利益	557,899
法人税、住民税及び事業税	301,930
法人税等調整額	△68,158
法人税等合計	233,771
少数株主損益調整前四半期純利益	324,128
四半期純利益	324,128

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年3月21日 至 平成24年9月20日)
少数株主損益調整前四半期純利益	324,128
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	33
その他の包括利益合計	33
四半期包括利益	324,161
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	324,161
少数株主に係る四半期包括利益	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年3月21日 至 平成24年9月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	557,899
減価償却費	36,979
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	383
賞与引当金の増減額 (△は減少)	2,316
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	1,272
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	8,499
受取利息及び受取配当金	△195
支払利息	5,805
為替差損益 (△は益)	4,617
保険解約返戻金	△929
株式公開費用	7,111
固定資産除却損	156
売上債権の増減額 (△は増加)	△88,024
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△223,577
仕入債務の増減額 (△は減少)	190,123
その他	△39,277
小計	463,161
利息及び配当金の受取額	211
利息の支払額	△6,238
法人税等の支払額	△157,070
営業活動によるキャッシュ・フロー	300,063
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△7,974
無形固定資産の取得による支出	△13,947
定期預金の預入による支出	△24,050
保険積立金の積立による支出	△11,806
保険積立金の解約による収入	2,392
その他	58
投資活動によるキャッシュ・フロー	△55,328
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入金の返済による支出	△138,326
リース債務の返済による支出	△6,510
配当金の支払額	△28,842
その他	△7,111
財務活動によるキャッシュ・フロー	△180,789
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4,599
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	59,345
現金及び現金同等物の期首残高	1,472,643
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,531,989

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

当社グループはアジュバン化粧品の商品企画、研究開発、販売及びこれに附帯するサービス業務を営む単一セグメントであるためセグメント別の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。